

コース 5 なるがみやま 鳴神山

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成23年4月24日(日) 天候 快晴
 参加者 27(男性 6 女性 21)
 グレード B
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅西口		5:20	区役所 5:30 魚沼はまだ雪の中。
赤城IC		7:20	赤城高原SAの眺望, 帰路で楽しみ。
桐生市駒形	9:35	9:45	路肩に車の列, バスのUターン心配
肩の広場	11:20	11:25	日本庭園風の岩上, ヤシオツツジ咲く。
東峰(桐生岳)	11:30	11:35	東峰山頂は人で一杯。360度の大展望
西峰(仁田岳)	11:45	12:45	人混み避け西峰へ移動し, 昼食タイム。
駒形登山口下方	13:05	13:20	バスは何とかUタウンできた。
桜草群生地	14:55	15:10	桜草はチョコチョコボ。盛りは10日後か
座禅草群生地	15:40	15:55	こちらはまだ花が大部残っていた。
新津駅西口	19:30		歩行も車も予定時間通り。不思議な位。

山行等概要(幹事のコメント)

- 1週間前に現地へヤシオツツジの状況を問い合わせると、盛りは4月末から5月初めになりそうとのこと。“時々雨”の予想でもあり、変更について継走電話で全員の意向を聞く。意向の結果、やむを得ず予定通りの期日で実施する。
- 当日は予想に反して雲一つない快晴。お目当てのヤシオツツジは、お陰様で頂上付近で8分咲き。眺望の方は、富士山以外は360度見えるべき山が全部見えた。
- 帰着後、記録と図鑑を照合した結果、トウゴクサバノオ(アズマシロカネソウの仲間)、ハルトラノオ(別名イロハソウ)、ワチガイソウ(ツメクサの類に似ている)、ナルガミスミレ(固有種)、エイザンスミレなどこの山ならではの花々を確認できた。



鳴神山 西峰・仁田山岳
 明るい樹林の中で昼食
 3, 4班

「鳴神山に参加して」

(127) T/M

今年2回目の山行、鳴神山。鳴神山は、新津ハイク初めての企画と聞きました。

前年グレードCからBに下げた。年齢、体力、技術など常に自信がない。参加は慎重に判断して申請を出している。いざ出かけるとなると空模様が気がかりになる。同行の友が、「現地は夜には雨が上がり、明日の日中は晴れマークが付き、気温8°～20°」というメールをくれた。天気の手配はなくなった。

顔見知りのメンバーが揃う。早朝の出発にかかわらず皆元気。今日を心待ちにしていたのだろう。車中で朝食を摂る。赤城高原SA・ICで登山靴、スパッツをつける。準備OK。最高の山行日和になった。リーダーの後に付いていく。一步一步、少々強い心臓がバクバク、息が上がる。「あなただけでないよ」と優しい声をかけてもらい、最後までがんばることができた。

藪山の新潟と違い、まるでよく整備されたかのような明るい山、芽吹き雑木林も美しい。うぐいすの声を聞き、キクザキイチゲ、カタクリ、ショウジョウバカマ、二輪草、スミレが咲いて、山全体が春を笑っているようでした。

最後の急坂を登り切ると岩場に囲まれた山頂、979.7メートル。目の前のパノラマは一級品。富士山はあいにく見ることはできなかったものの、東に筑波山を始めとし、北には日光・男体山、その手前は袈裟丸山、西には赤城山から、はるか奥に浅間山、更に南西方向遠くに八ヶ岳連峰などなどの山々を感激しながら眺めることができた。班ごとに昼食を摂る。頂上で地震を体験する。

リーダーが心配されていたヤシオツツジも所々で咲いていたのがよかった。カツコソウは少々開花が遅れていて見ることはできませんでした。

予定より早く出発、全員無事下山。ほっとした。

帰路、さくら草の群生を見たのも初めて。さらに、座禅草の群生地にも寄る。少々時期を逸したが、数株咲き残っていた。

盛りだくさんの内容ある楽しい山行。

すべてリーダー夫妻のご配慮と感謝します。健康と山仲間にありがとう。



鳴神山 東峰・桐生岳

ヤシオツツジ舞い360°の大展望 1, 2班